



報道関係者各位
プレスリリース

2017年10月17日
株式会社 Wirex Japan

仮想通貨の決済サービスを提供する 英 Wirex（ワイレックス）、 日本法人 CEO およびアジア地域責任者に小島 和の就任を発表



小島和 Wirex Japan CEO

ビットコインをはじめとした仮想通貨の決済サービスをグローバルで提供する Wirex Limited(本社：英国ロンドン、CEO: Pavel Matveev & Dmitry Lazarichev, 以下「Wirex」)は、2017年10月2日付けで、Wirexの日本法人である株式会社 Wirex Japan の代表取締役社長（CEO）およびアジア地域責任者に小島 和（こじま わたる）が就任したことをお知らせ致します。Wirex は利用者が急増している日本マーケットとアジア地域に今後リソースを集中投下する予定で、小島は、日本法人のトップとしてまたアジア地域の責任者として Wirex の日本を含むアジアマーケットにおけるビジネスの成長を牽引します。

Wirex は、ビットコインをはじめとした仮想通貨を世界中に、VISA ネットワークで利用できる決済サービスを提供しています。Wirex のアプリ上で仮想通貨を米ドルやユーロ、英ポンドへと瞬時に交換することが可能です。また対応済みの法定通貨を Wirex が発行する「Wirex カード」を通じて世界中の VISA の ATM、加盟店等のネットワークで利用することができます。既に世界 130 カ国で 900 万人以上の会員を有しており、今後さらなる利用者の拡大が見込まれている成長性の高いサービスを提供しています。

日本では 2017 年 4 月に SBI グループから第一弾として 300 万ドル（*約 3 億 3,600 万円）の出資を受け、日本円への対応をはじめとした、アジアにおける本格展開に向けて準備を行っています。さらに日本で、仮想通貨対応のデビットカードを発行、より多くの利用者を獲得するため、SBI グループと引き続き連携していく予定です。

Wirex のグローバル CEO、Pavel Matveev は、今回の日本法人トップの選任の理由を次のように述べています。「この度小島 和氏を日本法人の CEO およびアジア地域責任者として、Wirex に迎えることを大変嬉しく思います。日本にはすでに Wirex の利用者がいますが、彼の就任により、今後日本円対応をはじめとした日本向けのサービスを強化してまいります。Wirex にとって、日本は大変重要なマーケットです。現在、Wirex カードの日本の利用者向けにいくつかの新サービスを準備中で、その一環として、イーサリアム、ダッシュ、リップルなどの仮想通貨ウォレットを近々新たに追加することを予定しています。利用者は、Wirex の様々な仮想通貨に対応した Wirex の各ウォレットから VISA カードを通じて、お店やオンラインショップなどで簡単にお金が使えようになります。」



日本法人の代表取締役社長（CEO）およびアジア地域責任者に就任した小島 和は、英国ロンドン大学（UCL 校）工学部を 1995 年に卒業後、日英の IT 企業 2 社において約 12 年間にわたり、各種金融システムの開発、営業、コンサル、プロジェクトマネジメント等の業務に携わってきました。直近ではデンマークのオンライントレードプロバイダーのグローバル大手サクソバンクの日本法人社長を 2007 年より 10 年務め、フィンテックという歴史の浅い新分野で 10 年超にわたりその最前線でマーケットの成長に貢献してきました。小島は、従来の伝統的な金融サービスだけでなく、日本でこれからの成長が期待されるフィンテック分野でのグローバルな知見、日本およびアジアにおける事業拡大、レギュラトリー対応、マーケティング、マネジメントの豊富な経験と見識を Wirex にもたらしめます。

この度の就任にあたり、小島は次のように抱負を述べています。

「日本では今年、世界に先駆けて仮想通貨に関する法制が整備され、またビットコイン等の仮想通貨を使って買い物ができる店舗も少しずつ増えていますが、まだその利用者は限定的で一般化されていないのが現実です。Wirex は、仮想通貨が私たちの身近な決済手段、ツールになる上で必要な素晴らしいテクノロジーと仕組みを持っています。この革新的なサービスを日本において正式にスタートさせるため、今後監督官庁と協議しながら早期開業に向けて様々な準備を推し進めてまいります。」

*2017 年 10 月 17 日のドル円換算レート（約 112 円）で算出しています。

以上

【Wirex Limited（ワイレックス）について】

Wirex は、2014 年に英国で設立されたフィンテックスタートアップ企業です。現在、130 カ国以上の約 90 万人の利用者にブックチェーンの個人向けファイナンスプラットフォームを提供しています。Wirex を通じての決済総額は、2017 年 6 月時点で、10 億ドルに達しました。ロンドンの本社のほか、キエフ（ウクライナ）と東京に拠点を構えています。

Wirex は先般日本で行われた *FIN / SUM WEEK 2017* にて、国際間の決済を超低価格で実現できる「W-Pay」を発表しました。これは、マルチアセット・オフチェーン・ネットワークを進化させたもので、スマート・コントラクトのテクノロジーにより実現しました。複数の法定通貨を対象とした決済ソリューションで、ブロックチェーンやゲートウェイのコストが利用者にチャージされない、完全オートメーションの M2M 決済の環境であり、大きな注目を集めました。

【株式会社 Wirex Japan（ワイレックス・ジャパン）について】

Wirex Japan は 2017 年 8 月に設立された Wirex Limited の日本法人です。現在、2017 年の改正決済法に準じて、日本における仮想通貨交換業の登録を申請中です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

（日本語）

株式会社 Wirex Japan 広報代行

（株）プラップジャパン 蔵持朝子

TEL: 03-4580-9105 Email: a-kuramochi@prap.co.jp

（英語/English）

Wirex Global Headquarters (UK) Media Contact

Imran Khan, Head of Communications

TEL: +44 7585 213 051 Email: imran.khan@wirexap.com